



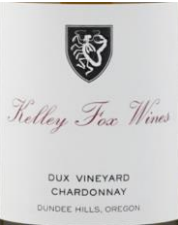

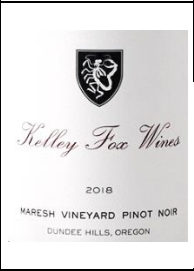


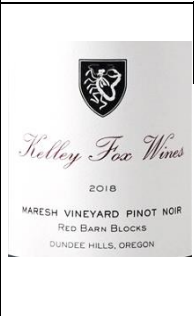
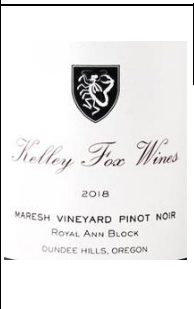







オレゴンの熟練生産者たちのもとでノウハウを学び、ケリー・フォックスは2007年にワイナリーを設立した。2005年から2015年まではスコット・ポール・ワインズで醸造長として働いていたが、2016VTからは、自身のワイナリーに専念する。また、特に影響を受けたのはジ・アイリー・ヴィンヤードの故デイヴィッド・レット氏だと、ケリーは話す。2018VTからは、彼女にとっての特別思い入れの深い、ダンディー・ヒルズのマーシュと呼ばれる区域の畑に注力しており、ワイナリーもより、仕事のしやすい場所へと移った。大学で生物学と生化学を修めたケリーだが、何ごととも決まりきった慣習通りには行わず、栽培でも過度の凝縮感は求めず、醸造では舌と感覚を頼りに判断をする。エレガントなワインが得意なケリーといわれる、ダンディー・ヒルズではあるが、ケリーの手にかかるとピノ・ノワールは、ひときわ伸びやかで、優雅なワインへと生まれかわる。

		○Willamette Blanc ウィラメット・ブラン			
				備考	大規模な山火事の煙によりブドウが燻されたので、赤ワインを醸造しなかった年。煙の香りがつかないように、ピノ・ノワールを白ワイン醸造した。通常のケリー・フォックスの味筋ではないが、煙にまみれたピノ・ノワールを何とかワインとして世に出そうとした苦心の作品。エチケットには不死鳥の絵があしらわれている。
	畑	品種：ピノ・ノワール70%、シャルドネ30% 植樹：1983年（ピノ・ノワール・自根）、1991年、2011年、2018年（シャルドネ） 位置：標高120~140m、東向き 土壌：レッド・ジョリー中心、シャルドネは一部古代海洋性土壌	醸造		
		○Nerthus ネルトウス		備考	ネルトウスとは豊穡を司る古代の女神のこと。エチケットはネルトウスをイメージしケリーの娘ヴァイオレットがデザインした。品種構成はVTにより異なる。2022VTは、ピノ・グリ以外は全房プレスし品種ごとに別々に醗酵、ピノ・グリは数日間のマセレーション醗酵をさせ、ブレンドした。
	畑	品種：アーリー・マスカット、ピノ・グリ、リースリング、ピノ・ブラン他 植樹：2006年頃 位置：標高137~153m、南向き	醸造		
		○Grüner Veltliner グリューナー・ヴェルトリーナー		備考	元々ネルトウスに混ぜていたグリューナー・ヴェルトリーナーだが、味わいが良いため単一品種で醸造をした。
	畑	品種：グリューナー・ヴェルトリーナー100% 植樹：2006年 位置：標高137~153m、南向き 土壌：古代海洋性土壌	醸造		
		○Willamette Valley Chardonnay ウィラメット・ヴァレー・シャルドネ		備考	フリーダム・ヒル・ヴィンヤードの樹齢が若いシャルドネで造るキュヴェ。樹齢を重ねた後には、単一畑キュヴェとしてリリースする予定。
	畑	品種：シャルドネ100% 植樹：2018年 位置：標高105~183m、南東向き 土壌：海洋性堆積土壌（ベルバイン）	醸造		
		○Dux Vineyard Chardonnay ダックス・ヴィンヤード・シャルドネ		備考	ダンディーヒルズA.V.A.に位置するダックスヴィンヤードで栽培したシャルドネを使って、2021VTから醸造。ダックス・ヴィンヤードでシャルドネを造ることはケリーの長年の夢だった。
	畑	品種：シャルドネ100% 植樹：2011年 位置：標高137m、南向き 土壌：レッド・ジョリー	醸造		

 Kelley Fox Wines 2018 DURANT VINEYARD CHARDONNAY LARK BLOCK DUNDEE HILLS, OREGON	○Durant Vineyard Chardonnay - Lark Block デュラン・ヴィンヤード・シャルドネ ラーク・ブロック			備考	アンフォラ型コンクリートタンクについて、ケリーは「子宮型」Uterine-shapedと呼んでいる。卵型ではなく、上部の径が大きく、下にむかってすばまる形をしている。
	畑	品種：シャルドネ100%（内96%がディジョンのクローン） 植樹：1991年 位置：標高250~300m、東向きの斜面 土壌：古代海洋性土壌	醸造		
 Kelley Fox Wines FREEDOM HILL VINEYARD PINOT BLANC WILLAMETTE VALLEY	○Freedom Hill Vineyard Pinot Blanc フリーダム・ヒル・ヴィンヤード・ピノ・ブラン			備考	ベルバインは海洋性の堆積土壌で、シルトや粘土を含み、水はけが良い。この土壌がピノ・ブランの栽培に適しているとケリーは考える。
	畑	品種：ピノ・ブラン100% 植樹：2012年 位置：標高105~183m、南東向き 土壌：海洋性堆積土壌（ベルバイン）	醸造		
 Kelley Fox Wines OLD VINE WHITE RIESLING MARESH VINEYARD DUNDEE HILLS, OREGON	○Maresh Vineyard - Old Vine White Riesling マーシュ・ヴィンヤード オールド・ヴァイン・ホワイト・リースリング			備考	ケリーが80年代にオレゴンに越してきたとき、オレゴン産リースリングはともて人気が高く、ケリーもよく森の中でフクロウの鳴き声を聴きながら楽しんでたという。そのころ飲んでたワインを再現しようと試みたワイン。
	畑	品種：リースリング100% 植樹：1970年 位置：標高137m 土壌：レッド・ジョリー	醸造		
	●Ahurani アフラニ			備考	ヴィツェル・ディクソンヴィル（Witzel-Dixonville）と呼ばれる土壌。森に囲まれたモンタジの区画の畑から出来上がる、ケリーの造るワインの中でも比較的ボディのあるワイン。
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1999年 位置：標高150~180m、南・南東向き 土壌：レッド・ジョリー、玄武岩	醸造		
	●Mirabai ミラバイ			備考	レッド・ジョリーと称される、酸化鉄で赤味を帯びた火山性土壌は、シルトと粘土、ローム質が混じっている。火山性土壌でフィロキセラがないので、全て自根。
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1970~1991年 位置：標高122m、南・南東向き 土壌：レッド・ジョリー	醸造		
 Kelley Fox Wines 2017 HYLAND VINEYARD PINOT NOIR COURY CLONE MCMINNVILLE, OREGON	●Hyland Vineyard Pinot Noir - Coury Clone ハイランド・ヴィンヤード・ピノ・ノワール コーリークローン			備考	濃い赤色をしているが、透明感はある色合い。涼しさを伴った、赤い果実味と、ハイランドの典型的な酸味が特徴。 レッド・ジョリーと称される、酸化鉄で赤味を帯びた火山性土壌は、シルトと粘土、ローム質が混じっている。
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1988年（自根） 位置：標高183m、北・西向き 土壌：レッド・ジョリー	醸造		
 Kelley Fox Wines 2017 MOMTAZI VINEYARD PINOT NOIR MCMINNVILLE, OREGON	●Momtazi Vineyard Pinot Noir モンタジ・ヴィンヤード・ピノ・ノワール			備考	ヴィツェル・ディクソンヴィル（Witzel-Dixonville）と呼ばれる土壌。 プレスした果汁は使用しない。
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1999年 位置：標高150~180m、南東向き 土壌：レッド・ジョリー、玄武岩	醸造		

	<p align="center">● Montazi Vineyard - Pinot Noir "Tir" モンタジ・ヴィンヤード・ピノ・ノワール "ティル"</p>		<p>備考</p> <p>"Tir"はペルシャ語で星を意味し、現代アラビア語では「弓矢」の意。レッド・ジョリーと称される、酸化鉄で赤味を帯びた火山性土壌は、シルトと粘土、ローム質が混じっている。火山性土壌でフィロキサラがないので、全て自根。プレスした果汁は使用しない。</p>
	<p align="center">● Maresh Vineyard Pinot Noir マーシュ・ヴィンヤード・ピノ・ノワール</p>		<p>備考</p> <p>レッド・ジョリーと称される、酸化鉄で赤味を帯びた火山性土壌は、シルトと粘土、ローム質が混じっている。火山性土壌でフィロキサラがないので、全て自根。プレスした果汁は使用しない。</p>
	<p align="center">● Maresh Vineyard Pinot Noir - Liminal マーシュ・ヴィンヤード・ピノ・ノワール リミナル</p>		<p>備考</p> <p>マーシュ・ヴィンヤードの中でもさらに区画を限定しているLiminal。この区画のエネルギーをより的確に表現するために「リミナル」という名前を付けた。この区画は黒クルミの木立と隣り合っている。レッド・ジョリーと称される、酸化鉄で赤味を帯びた火山性土壌は、シルトと粘土、ローム質が混じっている。</p>
	<p align="center">● Maresh Vineyard Pinot Noir - Star of Bethlehem Flower Block マーシュ・ヴィンヤード・ピノ・ノワール スター・オブ・ベツレヘム・フラワー・ブロック</p>		<p>備考</p> <p>スター・オブ・ベツレヘム・フラワーは、南欧や南アフリカにみられる草花の名前。細長く白い花びらが、星のように見えることに由来。レッド・ジョリーと称される、酸化鉄で赤味を帯びた火山性土壌は、シルトと粘土、ローム質が混じっている。</p>
	<p align="center">● Maresh Vineyard Pinot Noir - Red Barn Blocks マーシュ・ヴィンヤード・ピノ・ノワール レッド・バーン・ブロックス</p>		<p>備考</p> <p>レッド・バーンは赤い納屋の意味。スコット・ポール・ワイナリーでワインメーカーとして働いていた時から10年以上、この区画がかかわってきたが、2018VTが最後の醸造となる。レッド・ジョリーと称される、酸化鉄で赤味を帯びた火山性土壌は、シルトと粘土、ローム質が混じっている。</p>
	<p align="center">● Maresh Vineyard Pinot Noir - Royal Ann Block マーシュ・ヴィンヤード・ピノ・ノワール ロイヤル・アン・ブロック</p>		<p>備考</p> <p>ロイヤル・アンは、ブドウ畑にある樹齢100年のサクランボの木の品種名。レッド・ジョリーと称される、酸化鉄で赤味を帯びた火山性土壌は、シルトと粘土、ローム質が混じっている。</p>

	<p align="center">●Maresh Vineyard Pinot Noir - Golden Crowned Sparrow Blocks マーシュ・ヴィンヤード・ピノ・ノワール ゴールデン・クラウンド・スパロウ・ブロックス</p>		備考	<p>区画名はこの地に生息する鳥の名前からとった。ケリーは数年にわたり数多くの鳥の鳴き声の録音データを聞き、この鳥の正体突き止めた。</p>
畑	<p>品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1978年、1991年（自根） 位置：標高152~213m、南向き 土壌：レッド・ジョリー</p>	醸造 <p>合成樹脂容器に約30%全房でマセレーション ブルゴーニュ樽（228L）で熟成</p>		
	<p align="center">●Weber Vineyard Pinot Noir ウェーバー・ヴィンヤード・ピノ・ノワール</p>		備考	<p>ウェーバー家が1978年に、初めて植樹したブドウ畑。マーシュー家とも仲の良い、ウェーバーが管理する畑で、ケリーにとっても、最も信頼のできる栽培家の一人。 レッド・ジョリーと称される、酸化鉄で赤味を帯びた火山性土壌は、シルトと粘土、ローム質が混じっている。</p>
畑	<p>品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1983、1987年（自根のポマール・クローン） 位置：標高152m、東・南東向き 土壌：レッド・ジョリー</p>	醸造 <p>合成樹脂容器に50%全房で約16日間マセレーション ブルゴーニュ樽（228L）で11か月間熟成 新樽は使用しない</p>		
	<p align="center">●Canary Hill Vineyard Pinot Noir キャンナリー・ヒル・ヴィンヤード・ピノ・ノワール</p>		備考	<p>ヴィンヤード名は周辺を飛び回っている黄色い鳥にちなんでつけられた。（正確にはその鳥はカナリアではない。）</p>
畑	<p>品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1995年（自根のポマール・クローン） 位置：標高137~168m、東向き 土壌：レッド・ジョリー、ネキア（より石が多い火山性土壌）</p>	醸造 <p>合成樹脂容器で約14~18日間マセレーション ブルゴーニュ樽（228L）で10か月間熟成 新樽は使用しない</p>		
	<p align="center">●Carter Vineyard Pinot Noir カーター・ヴィンヤード・ピノ・ノワール</p>		備考	<p>1974年から有機栽培が行われているカーター・ヴィンヤード。ケリーはここで2019VTからワインを造り始めた。 この畑から生まれるワインは強い個性と気品を持つ。</p>
畑	<p>品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1983年（自根） 位置：標高100m、南向き 土壌：レッド・ジョリー、ネキア（より石が多い火山性土壌）</p>	醸造 <p>合成樹脂容器に全房30%で15~19日間マセレーション ブルゴーニュ樽（228L）で10か月間熟成 新樽は使用しない</p>		
	<p align="center">●Blueberry Wine ブルーベリー・ワイン</p>		備考	<p>ケリーがパートナーのジム・アンダーソン（Patricia Green Cellars）と共同で造ったブルーベリーのワイン。地元の農園の土着のブルーベリーを手作業で収穫し、赤ワインと同じように醸造した。 酵母を最小限添加。醗酵が始まったタイミングと瓶詰め直前にフィルターをかける</p>
畑	<p>品種：ブルーベリー100% 植樹：1987年</p>	醸造 <p>1日1回のピジャージュをしながら合成樹脂容器で醗酵 ブルゴーニュ樽（228L）で8か月間熟成 激引きし瓶詰め直前にフィルターをかける</p>		